

RPPC メールマガジン 第 878 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 6 月 30 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

1.協議会会員のご担当者様へ

本年度パンフレットと年会費請求書等を発送致しました。

2.部会参加申込書について（新たにご参加をご希望の方）

・本年度より、新規に各専門部会にご参加希望の方につきましては、添付の『部会参加申込書』にご記入いただき、事務局までご連絡ください。

※部会内のご担当者様にご変更がある場合もご連絡ください。

■先週・今週の報道発表

令和元年度土壌汚染対策法の施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等に関する調査結果について

【環境省令和 3 年 6 月 25 日】

～詳細につきましては下記 URL をご参照ください～

<http://www.env.go.jp/press/109721.html>

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.港湾局、第 82 回港湾分科会開催、室蘭港、境港の改訂了承

国土交通省港湾局は 6 月 21 日、交通政策審議会第 82 回港湾分科会を開催し、港湾計画改訂案件として室蘭港、境港、並びに堺泉北港の一部変更計画について審議し、いずれも原案通り適当である、と答申した。

【室蘭港】

室蘭港の新たな港湾計画は令和 10 年代後半を目標に、「物流機能の強化」として御崎地区において老朽化した岸壁や未利用の公有水面を埋立て、大型船による輸送対応や現状で

横持を余儀なくされている陸上輸送コストの軽減を図る。石炭の輸入等として3万DWT級船舶に対応する水深12m岸壁延長230m（耐震）を新たに計画している他、新設する岸壁背後の水域約11haを埋立造成し、鋼材・製鉄副原料、石炭（製糖向け）、鋼材ヤードなどとして確保する。

また「産業空間の確保、物流機能の強化」として、祝津絵鞆地区の水深10m岸壁で取扱っている金属くずなどの輸移出を、築地地区に新たに3万DWT級に対応する水深12m延長230mとして計画、併せて老朽化した岸壁部分などを埋立て金属くずヤードを整備する。

このほか本輪西地区では、バイオマス発電所で用いるパームヤシ殻（PKS）の受入れとして、新たに水深11m岸壁延長190mを計画。関連して大規模保管ヤードを確保。岸壁と一体的に利用することで、道内へのバイオマス燃料の受入・供給拠点、木材輸出拠点として機能させる。

また祝津ふ頭において、「旅客船受入拠点、親水・交流空間の形成」として、世界最大22万t級クルーズ船対応の水深11m延長410mを整え、駐車場や遊歩道の整備などクルーズ船の寄港への環境を向上させる。

### 【境港】

境港の港湾計画改訂は令和10年代後半が目標。境港は国際海上コンテナ、外航クルーズ、原木取扱いなどを内容とする日本海側拠点港に選定されている他、リサイクルポートとしても指定されている。

今回の港湾計画が目指す内容は、地域の主力産業である合板生産・輸出の強化及び農林水産品輸出の促進に貢献、山陰立地企業の基礎物流インフラとしての内貿ユニットロード（コンテナ、RORO）の取扱い機能を強化する。また世界最大級クルーズ船入港への対応、国際フェリーの再就航に向けた取組みなど。

施設計画としては、外港昭和南地区において再生可能エネルギーの導入推進、循環資源の維持、農林水産品の輸出拡大等に対応して、リン査閲部にコンテナ対応の水深12m岸壁延長230mを計画。各ふ頭の機能向上を図る。また同地区の水深10m岸壁を耐震化するほか、外港竹内地区の水深10m大型クルーズバース延長370mを水深10・5m、延長430mに変更する。

---

## 2.堺泉北港で港湾計画を一部変更、堺2区防災拠点強化

堺泉北港の一部変更計画が21日開催の交通政策審議会港湾分科会で了承された。

堺泉北港堺2区は近畿圏の臨海防災センターとして基幹的区域防災拠点として位置付け

られている。

今回の一部変更は同地区内に計画されているマリーナ計画（泊地水深 5m18a、小型栈橋等）を削除し、基幹的防災拠点機能を強化する。

従来のマリーナ計画を削除して緑地を拡張、防災拠点機能としてのオープンスペースを確保する。

---

### 3.鹿島港で外港地区の中央防波堤築造工事など

関東地方整備局鹿島港湾空港整備事務所は、鹿島港外港地区中央防波堤の整備でケーソン3函を据付ける築造工事（その2）と3函を製作する本体工事を今後、発注する。

水深14m岸壁が供用している鹿島港外港地区では、港内の静穏性を確保するため、中央防波堤と南防波堤の整備を進めている。

中央防波堤は全体延長900mのうちケーソン据付が757mまで完了。今年度は4月に入札した築造工事により長さ20mのケーソンを2函据え付ける。

また第3四半期に入札予定の築造工事（その2）によりケーソン3函を据え付ける。

---

### 4.北九州港土砂処分場、地盤改良4件、築造1件を追加

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所は、新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）地区の今年度整備事業で、新たに地盤改良工事4件、護岸築造工事1件（WTO）を追加し、発注手続きを開始している

地盤改良は東護岸3-1工区（延長225m）のうちの延長約180mを対象に1次～4次工事に分けて床掘、並びに岩ズリにより護岸基礎地盤を入れ替える。このうち1次工事は前工事で床掘をほぼ実施済の区間で、今回工事は置換え工事を中心に施工延長は約60m。

2次～4次工事は各々延長40mで床掘と置換え工事を実施する。

また昨年度からは本体の築造工事にも順次着手しており、今年度も東護岸2工区（施工延長約130m）と東護岸1-2工区（約137m）をそれぞれ入札手続き中で今後開札する。今回これに続く今年度第3次として、新たに南護岸1工区を対象とする築造工事を1件追加した。

同工事は昨年度契約して施工中の南護岸築造工事に繋がる区間で施工延長は約102m。これまでの築造工事と同様に基礎捨石、方塊ブロックの据付、被覆工、裏込、上部工、消波工など完成断面まで仕上げる。

※新たに導入した PC とメーカーの環境では、添付ファイルが「\*\*\*.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: [rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////